

2つの点に絞ってコメントを述べたいと思います。

- ・日本は何所に強みを求めるか
- ・英語を含めた教育の問題

1 日本の強みは？

問題点：日本は既存技術の改善、完璧化には長けているが、新ビジョン/新アイデアの創出には欠ける。

考察：

(1) 昔から、日本は高品質市場と言われ、ユーザもこれを求めてきたしメーカーも必死に伝えてきたと思います。確かに、新ビジョン/新アイデアの創出には欠けるかも知れませんが、高品質志向は日本の強みとして今後も日本が生きる大切な道筋だと思います。

- ・スリ合わせ技術による高品質な車：世界に喜ばれました。
- ・(私の関連では)ハイエンド Raid 製品：22年前の単なるアイデアから始まって、延々と改善・新機能を積み上げて、今日でも世界の Top Share を維持しております。企業の基幹データを預かる Raid 製品は品質が命で数 100 万ステップのコードと高度な製造技術を維持するチームワークに依存しています。
- ・東京デズニー(運営に於いては本国の師匠を超えた)、農産物でも(高く売れるのもあるようです)等、高品質を売り物に世界から信頼される国、があっても良いと思います。

(2) 新ビジョン/新アイデアの創出には欠ける、のは残念ですが、これも、1つのことをトコトン追求する中から、何かの契機で沸いてくるものにこそ他に追随されないものが出る事もあります。

2 英語を含めた教育の劣化

問題点：英語ネックで国際化に出遅れ。労働者の勤勉と高教育レベルも昔話

考察：

(1) 確かに英語の問題は、日本の内向き志向、ガラパゴス化の1つの要因かも知れません。

(2) しかしながら、より多くの人には、より根源的な問題があるように思います。

- ・英語が出来ないと公言している人でもノーベルを受賞しています。自然科学特有の話？。
 - ・英語表現以前に日本語としての表現が不十分。「日本語を介在させるな、始めから英語で考えよ」との意見もありますが。
 - ・その根底には、中身が他者に伝えるべく整理されていない。極端には伝えるべき中身が不十分。
- (3) 日本だけの問題では無いかもしれませんが、近年益々、人類の知識量が爆発的に増大して、知識教育に追われて、全人的教育の余裕がなくなっている。
- ・大学の教員ですら(だからこそ?)、専門以外の分野を含めた全貌を俯瞰することが困難になっている。
 - ・今 NHK の大河ドラマで出てくる直江兼続は、5歳のときから上杉景勝に仕えて、寒くて広いお寺(最近見学してきました)で雑巾がけから始まる厳しい英才教育を受けた。今はこんな教育は難しい。
 - ・マスタ卒が大学卒の大勢になるぐらいに知識レベルは上がっていますが、イメージーションの不足、耐ストレス性の低下が指摘されております。
 - ・今後さらに、競争が激化して、極端な弱肉強食にならない様に法整備も必要かも知れませんが、モラル教育も含めた全人的教育を如何に進めるかが大きな課題だと思います。
 - ・如何に新規アイデアに富んでも、毒入り証券で世界経済を破壊するビジネスの開発は困ったものです。

(4) 結論として、知識の大洪水の中にあって、社会人としての必要な知識を身につけ、イメージーションに富み、少々のことでは挫折しない強い精神力と他者を思いやる心に満ち、自由には責任を伴うことを自覚する、人材をどう育てるかが大きな課題だと思います。